

**「高校生のための学びの基礎診断」認定された測定ツール
(基本情報)**

事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション				
測定ツール名	『Literas 論理言語力検定』（『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中）2級				
主な対象者	実生活で生きて働き、各教科の学習の基本となる語彙力・読解力・聴解力等の言語能力を身につけさせたい、高校1年生～3年生				
対象教科	国語 ○	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ 標準タイプ ○
測定ツールの目的・概要	<p>【目的】 教科の国語をベースとしながら、実生活で生きて働き、各教科の学習の基本となる言語能力を、育成・測定。</p> <p>【概要】 以下の3領域で測定（級認定）する検定ですが、国語の学習指導要領に対応した「語彙運用力」「情報理解力（聴解・読解）」の2領域でPDCAを回して国語の授業改善に生かせるようにする。受検は3領域で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考の基盤となる「語彙運用力」 ・実社会において様々な情報を理解するための「情報理解力（聴解・読解）」 ・視野を広げ、社会課題を理解するための「社会理解力」 <p>2級では特に、論理的文章の理解・アウトプットにつながる語彙力や、社会課題につながるテーマを的確に聴解・読解して正しく理解する力を育成・測定。</p>				
測定ツールの特長・活用例等	<p>【特長・活用例】 特に国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力の育成とその測定ツールとして活用できる。</p> <p>【P】 事前に教師は、該当学年の生徒の状態目標設定を行う。 生徒は、検定独自のCan Doリストから自らの目指す姿の目標設定を行う。</p> <p>【D】 国語の授業とあわせて、語彙力・読解力・聴解力に特化した教材で学習する。</p> <p>【C】 検定を受検し、結果を確認する。</p> <p>【A】 教師は、団体成績表から、生徒の現状を把握し、授業改善につなげる。 生徒は、自己採点をして内容を振り返るとともに、受検結果返却時に自分の学習の成果や課題を認識し、改善につなげる。</p>				
実施期間、年間実施回数	<p>【実施期間】 11月の規定日 【年間実施回数】 年1回 ※級認定を行う検定回は上記のとおり。検定実施日以降も、級認定を行わない学校内のアセスメントとして、学校の希望する時期に実施可能。 (2019年度の実施月は12月・1月・2月。以降、毎年4・5・6・7・9・10・12・1・2月に予定。)</p>				
実施方式 (CBT/PBT)	PBT				
試験時間(分)	国語	数学	英語		
	50分 ※「社会理解力」を含む、3領域での時間。				
受検料	【検定】2級：2,650円 ※すべて消費税等込み				
標準返却期間	実施後約1か月				
URL(事業者のHPIにおける測定ツール紹介)	『Literas 論理言語力検定』（商標登録申請中）公式サイト (https://literas.benesse.ne.jp)				

指摘事項	出題に関すること	1 件
	結果提供に関すること	1 件
	運営その他に関すること	2 件